

## 令和3年度・事業計画（案）

特定非営利活動法人子どもたちの生きる力をのばすネットワーク

### 1 事業実施の方針

特定非営利活動法人子どもたちの生きる力をのばすネットワークは、不登校、中退、引きこもり等に悩む子どもたちや若者及び保護者に対して、それらに係る相談業務に関する事業を行い、生活及び学習に係る問題の改善や解決を図り、自立心と主体性の確立及び向上、また心身の健康の増進に寄与することを目的として、下記の事業を計画実施する。

具体的には、本法人の定款第5条第1項の事業として、フリースクール(適応教室)による青少年支援活動事業、スタッフのカウンセリング技法その他の研修に係る事業、青少年の健全育成に関する事業を実施するものとする。

新型コロナウイルス感染拡大の現時点での早期の収束の予測困難との現状に鑑み、事業計画の弾力的な運用を前提とする。昨年度以上に感染拡大防止策を第一に掲げ、本年の事業計画の原案を可能な限り示す。

#### ○《感染拡大防止策》

感染拡大が急速に広がる現時点において、昨年度に引き続き下記の対策を生徒・スタッフ・来訪者とも確実に遵守する。

3密(密閉・密集・密接)の回避を基本とし、①マスクの着用②入室前の検温③手のアルコール消毒④入室・退出時の滞在記録簿の記帳⑤大声で話さず、控え目な会話⑥室内換気⑦手洗いうがいの徹底⑧教室開錠・施錠直前、施設内のドアノブ机椅子などのアルコール消毒を徹底⑨事前及び活動中の発熱・体調不調の場合、登校を禁止及び直ちに下校させること。

以上は、当然スタッフ・来訪者に共通して準用される。

### 2 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

##### ①青少年支援活動事業

##### ア フリースクール支援事業

##### (ア) 事業内容

- ①学習指導、生活指導及び進路相談
- ②スポーツ…室内運動(卓球、バドミントン、バスケットボール等)
- ③各種リクリエーション
- ④アニマルセラピー教室
- ⑤簡単な調理実習(当面の間中止)
- ⑥令和3年度卒業・修了を祝う会

a. 開催日時:令和4年3月26日(土)AM10:00~PM1:00

b. 会場:アイプラザ半田2階研修室

c. 内容:第一部 祝う会(卒業生、修了生)

第二部 懇談会

##### ⑦古川一也公認会計士事務所によるコンサルティング

#### (イ) 実施予定曜日・時間帯

毎週 火 水 木 金曜日 9:30~15:00

#### (ウ) 実施予定場所

- ①「アイプラザ半田」109,110号室
- ②「アイプラザ半田」軽運動室・「市体育館」
- ③「アイプラザ半田」109,110号室
- ④「アイプラザ半田」中庭
- ⑤「アイプラザ半田」109,110号室
- ⑥「アイプラザ半田」研修室

※実施に当たっては、その都度必要性に応じて協議して調整する。

#### (エ) 従事者の予定人数

第3号議案・令和3年度事業計画案(2)

スタッフ 15 名

(オ) 受益対象者の範囲及び予定人数

小・中・卒業生・高校生等計 12 名程度。

(カ) 費用見込額 542,200 円

内訳：(印刷製本費 1,300 円、旅費交通費 392,500 円、通信運搬費 400 円、教材費 7,500 円、行事費 4,900 円、会議費 12,000 円、消耗品費 122,000 円、賃借料 1,600 円)

(キ) 収益見込額 0 円

イ 小学生の学習(ハートルーム)・生活支援事業(寺子屋事業)

(ア) 事業内容

ハートルームは第三土曜日 10:00~15:00 小学生を中心に昼食・遊びを通じた居場所寺子屋事業は、助成金を基に活動を展開している。その内容は、レクリエーション、手芸、新聞作り、ゲーム等学生ボランティアの協力を仰ぎながら行っている。

(イ) 実施予定日時

①夏季・寺子屋事業・・・7月下旬<予定>

②冬季・寺子屋事業・・・12月下旬<予定>

③春季・寺子屋事業・・・3月下旬<予定>

(ウ) 実施予定場所

「アイプラザ半田」109、110 号室

(エ) 従事者の予定人数

6 名

(オ) 費用見込額 66,800 円

内訳：(旅費交通費 25,000 円、通信運搬費 800 円、賃借料 1,000 円、行事費 20,000 円、消耗品費 20,000 円)

(カ) 収益見込額 0 円

ウ OG・OB の活動支援事業内容

・卒業生や高校生などによる交流・昼食会

(ア) 実施予定日時

毎月第4週土曜日 11時00分~15時00分

(イ) 実施予定場所

「アイプラザ半田」110 号室

(ウ) 従事者の予定人数

常時 2~4 名

(エ) 受益対象者の範囲及び予定人数

高校生、卒業生等各回 4 名

(オ) 費用見込額 4,000 円

内訳：(行事費 4,000 円)

(カ) 収益見込額 0 円

エ 第2部学習支援事業

(ア) 事業内容

a. 中学生や高校生、卒業生への居場所提供

b. 学習指導

c. 進路及び生活相談

(イ) 実施予定日時

毎週木曜日 前半 14:30~16:00 (勉強、おやつ)、

後半 16:00~17:30 (夕食、交流) 片付け・清掃、18:00 帰宅

第3号議案・令和3年度事業計画案(3)

(ウ) 実施予定場所

「アイプラザ半田」110号室

(エ) 従事者の予定人数 2~4名

(オ) 受益対象者の範囲及び予定人数

中学生、卒業生、高校生、各回3~4名

(カ) 費用見込額 20,700円

内訳：(旅費交通費 18,500円、通信運搬費 2,200円)

(キ) 収益見込額 0円

② スタッフのカウンセリング技法その他の研修に係る事業

ア カウンセリング研究会事業

(ア) 事業内容

a. 事例研究

b. 相談業務(カウンセリング)

(イ) 実施予定日時

毎月第4火曜日 午後7時30分~9時

(ウ) 実施予定場所

アイプラザ半田 109号室

(エ) 従事者の予定人数

5名

(オ) 費用見込額 25,000円

内訳：(会議費 2,000円、旅費交通費 18,000円、研修費 5,000円)

(カ) 収益見込み額 0円

イ 不登校に関わる全国研究大会への参加<未定>

(ア) 事業内容

——第25回登校拒否・不登校問題全国のつどい——

(主催：登校拒否・不登校問題全国のつどい)

a. 基調講演

b. 分科会(発表・意見交換会)

(イ) 実施予定日時

<未定>

(ウ) 実施予定場所

<未定>

(エ) 従事者の予定人数

1名

(オ) 費用見込額 25,000円

内訳：(会議費 2,000円、旅費交通費 18,000円、研修費 5,000円)

(カ) 収益見込額 0円

③ 青少年の健全育成に関する事業

ア 文化祭事業

(ア) 実施予定日 令和4年 1月22日(土)

(イ) 実施場所 半田市東洋町1-8「アイプラザ半田」2F 小ホール

(ウ) 実施内容

a. 生徒・スタッフ等による生活体験発表又は「今だから話せる」(令和3年版)

b. 生徒・スタッフ活動記録展示

c. 生徒・スタッフ制作作品(習字、絵画、手芸品等)

イ 座談会：テーマ「子どもを巡る様々な問題について、語り合いませんか。」

第3号議案・令和3年度事業計画案(4)

—親の在り方と、学校、行政、NPOとの協働の在り様を考える—(仮題)

総合司会：臨床心理士 米村 高穂氏

《座談会の趣旨》

親御さんの方々の日頃から抱える悩みを率直に出し合い、それに対して率直な意見や感想を出し合う。学校関係者、行政関係者、NPO団体、一般市民など各分野の人々とも交流する中で、子どもたちの将来に何が求められているかを考える。

(ア) 従事者の予定人数

スタッフ7名、親の会15名 計22名

(イ) 受益対象者の範囲

- a. 不登校の子どもをもつ保護者・学校関係者
- b. 関心のある一般市民

(ウ) 費用見込額 21,500円

内訳：(行事費21,000円、通信運搬費500円)

(エ) 収益見込額 0円

3 大学との連携事業(サービスラーニング)協力について

(ア) 事業内容

日本福祉大学の学生が当フリースクールの活動に生徒と共に参加し、生活や活動をへて、市民性の涵養及び将来の業務の参考に資するための活動を展開する。

(協力機関：「地域福祉サポートちた」)

(イ) 実施予定日時

8月下旬～9月上旬(期間内に5日間)

(ウ) スケジュール

- ・5月下旬 美浜キャンパスにて 学生と顔合わせ及び契約手続きの完了
- ・6月中旬～下旬 事前訪問の期間 学生が活動先へ訪問
- ・8月下旬～9月上旬 サービスラーニングの実施
- ・10月下旬 日本福祉大学美浜キャンパスにて活動報告会

(エ) 収益見込み額 20,000円

4 企業の社会貢献活動事業協力について

ア 社会貢献活動の内容<未定>

(ア) 事業内容

企業(デンソー株式会社主催)の社会貢献活動事業(出展・生徒作品販売・寄付業務)に協力及びデンソーの発表事業の見学等

(イ) 実施予定日時

未定

(ウ) 従事者の予定人数

5名

(エ) 受益対象者の範囲及び予定人数

5名

(オ) 収益見込額 未定

5 助成金及び寄付金について

ア 助成金

(ア) 生活困窮者自立支援に係る助成金：(半田市子育て支援課)

年3回(春・夏・冬平均3日間)の生活支援(寺子屋事業)

(イ) 充実した活動に心掛け会計及び活動報告を丁寧かつ継続的に行う。

イ 寄付金

(ア) 労金の寄付金口座システムの活用

第3号議案・令和3年度事業計画案(5)

(イ) 陰ながら支援して頂いている方々へホームページの更新やニュースレターの定期的な発送を通し会計及び活動の様子をお知らせするとともに継続的な寄付をお願いする。

(ウ) スタッフ・親の会のメンバーの協力関係の強化のもと、本会活動に関心を持つ方々との交流及び広報活動を通し本会活動の理解の上に寄付をお願いする。

6 広報活動について

ア 方法

(ア) 本団体ホームページ

(イ) ニュースレター

(1) 「のばす会・ネットワーク便り」第24号:2021(令和3)年4月発行済み

(2) 「のばす会・ネットワーク便り」第25号:2021(令和3)年8月発行予定

(3) 「のばす会・ネットワーク便り」第26号:2021(令和3)年12月発行予定

以 上